

# 島根県の地震

令和2（2020）年8月

・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

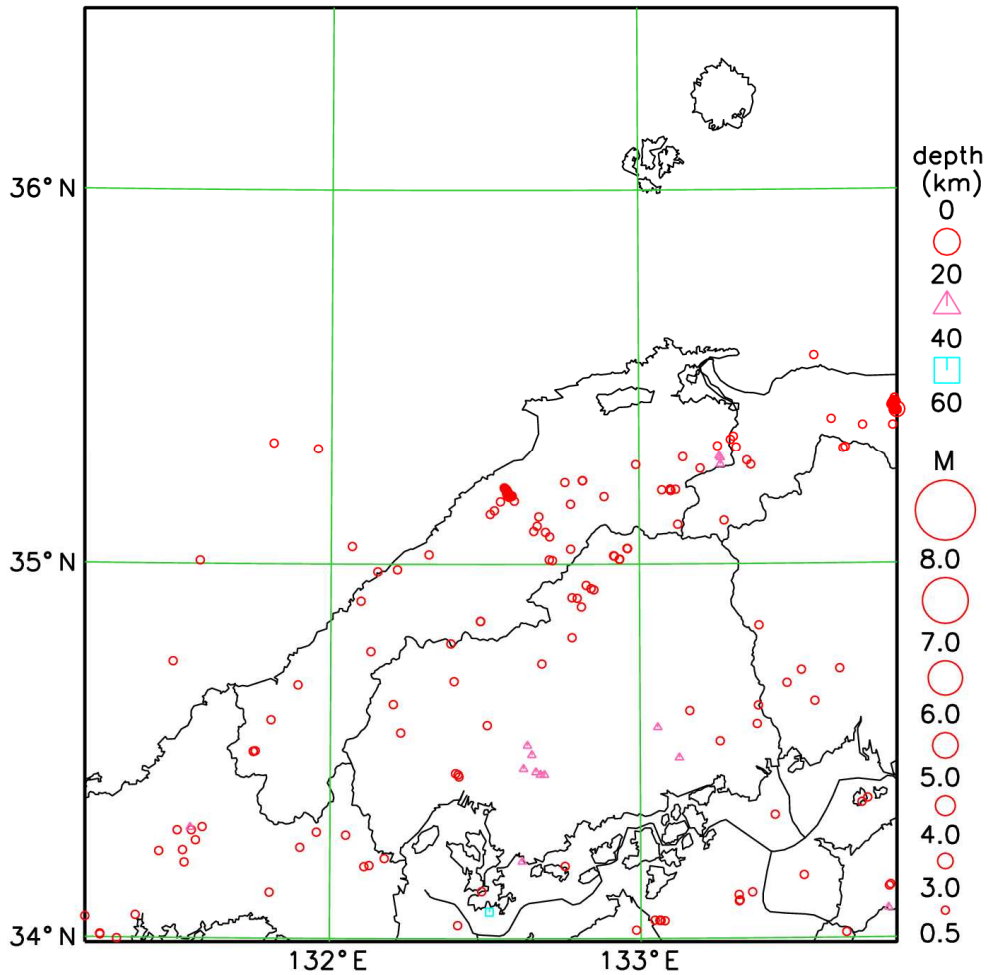
・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用しています。

松江地方気象台

# 島根県およびその周辺地域の地震活動 2020年8月1日～31日

2020 08 01 00:00 -- 2020 08 31 24:00

N=211

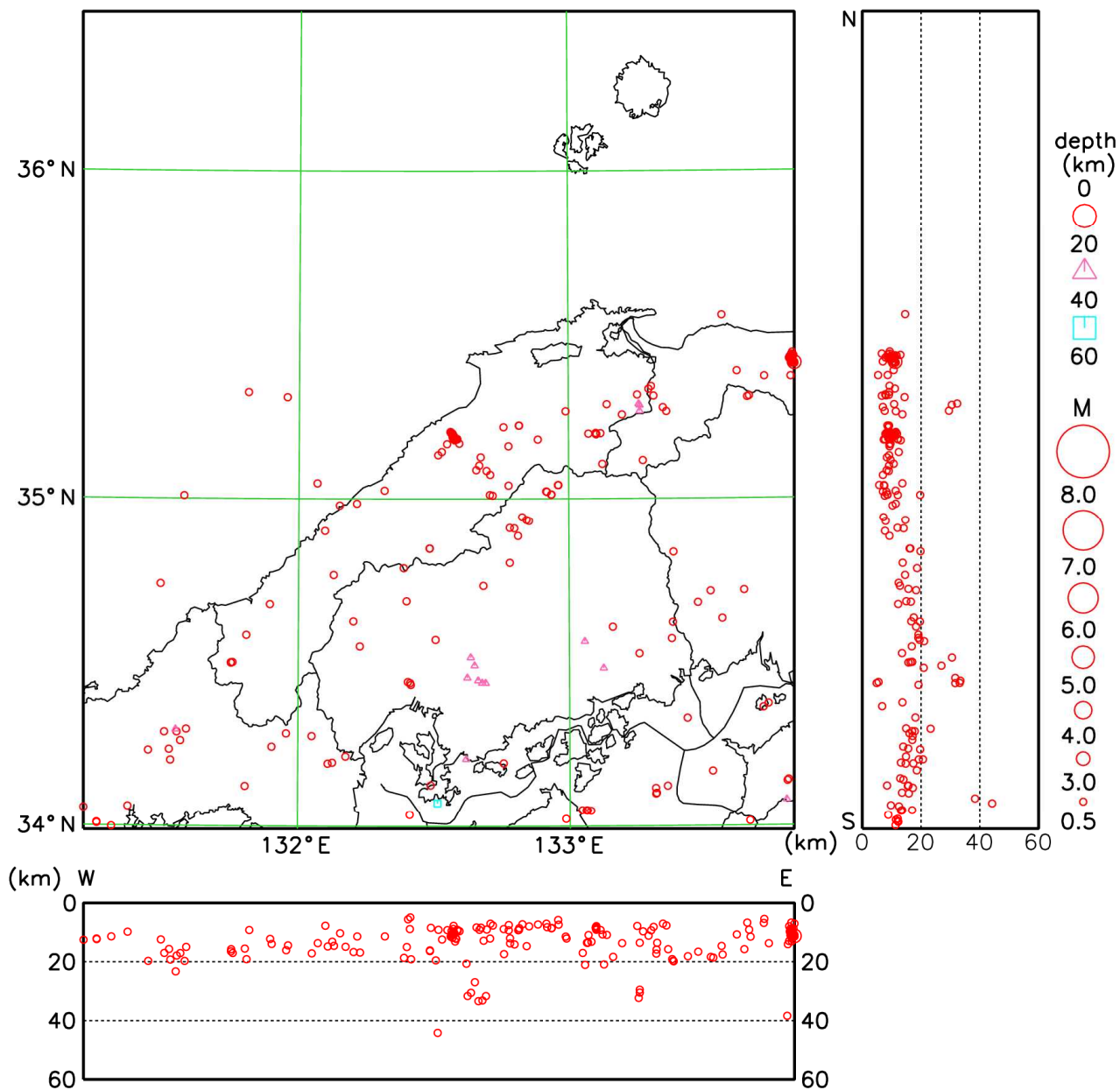


## [概況]

今期間、M0.5以上を観測した地震は211回（7月は218回）でした。  
また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、ありませんでした。

# [断面図]

2020 08 01 00:00 -- 2020 08 31 24:00



## 長周期地震動について

地震が起きると様々な周期を持つ揺れ（地震動）が発生します。南海トラフ地震のような規模の大きい地震が発生すると、周期の長いゆっくりとした大きな揺れ（地震動）が生じます。このような地震動のことを**長周期地震動**といいます。

建物には固有の揺れやすい周期（固有周期）があります。地震波の周期と建物の固有周期が一致すると共振して、建物が大きく揺れます。

また、高層階の方がより大きく揺れる傾向があり、長周期地震動により高層ビルが大きく長く揺れることで、室内の家具や什器が転倒・移動したり、エレベーターが故障することがあります。



気象庁では、概ね 14、15 階建以上の高層ビルを対象として、長周期地震動階級を用いて、高層階での揺れの大きさの程度や被害の発生可能性等についてお知らせする「長周期地震動に関する観測情報」を提供しています。

【長周期地震動階級関連解説表】

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

島根県では2018年4月9日01時32分に発生した島根県西部の地震（最大震度5強）で、長周期地震動階級2が観測され「長周期地震動に関する観測情報（試行）」を公表しています。

長周期地震動に関する観測情報(試行)  
 2018年04月09日 01時32分ごろ地震がありました。  
 震源地は、島根県西部（北緯35.2度、東経132.6度）で、震源の深さは約10km、地震の規模（マグニチュード）は5.8と推定されます。

【長周期地震動階級1以上が観測された地域】  
 長周期地震動階級2 島根県東部  
 長周期地震動階級1 鳥取県西部

長周期地震動階級1以上が観測された地域

観測点別詳細資料

都道府県 島根 全観測点の階級情報csvファイル

地域名	観測点名	震度	長周期地震動階級
島根県東部	松江市西生馬町	3	階級1
島根県東部	松江市西津田	4	階級0
島根県東部	出雲市今市町	4	階級2
島根県東部	出雲市坂浦町	3	階級0
島根県東部	雲南市大東町大東	5弱	階級0
島根県西部	浜田市大辻町	3	階級0
島根県西部	益田市匹見町石谷	2	階級0
島根県西部	島根美郷町君谷	5弱	階級0
島根県隠岐	隠岐の島町西町	2	階級0
島根県隠岐	隠岐の島町山田	2	階級0

長周期地震動階級の凡例: 階級1 階級2 階級3 階級4

このような、長周期地震動による揺れは経験することが少なくなじみも薄い  
 ため、気象庁の発表する長周期地震動階級毎の揺れの大きさを身近に感じ、日  
 ごろの備えに役立ててもらうために気象庁ホームページに動画を掲載していま  
 す。

気象庁 HP <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/choshuki/index.html>

国土交通省 気象庁 Japan Meteorological Agency

ホーム 防災情報 各種データ・資料 知識・解説 気象庁について 家内・申請

ホーム > 知識・解説 > 長周期地震動について

長周期地震動について

大きな地震で生じる、周期（揺れが1往復するのにかかる時間）が長い大きな揺れのことを長周期地震動といいます。長周期地震動に  
 り、高層ビルは大きく長時間揺れ続けることがあります。また、長周期地震動は遠くまで伝わりやすい性質があり、地震が発生した  
 ら数百kmは離れたところでも大きく長く揺れることがあります。長周期地震動による大きな揺れにより、家具類が倒れたり  
 る危険に加え、大きく移動したりする危険があります。  
 長周期地震動を知り、事前に対策を行うことで、被害を軽減することが可能です。このページでは、長周期地震動の基礎知識や、  
 気象庁における取組を紹介します。

長周期地震動説明ビデオ

長周期地震動の揺れの大きさは  
 震度とは別の「階級」でお知らせします

階級1 階級2 階級3 階級4

活弁士 山崎バニラさ  
 さんが解説する、長周期  
 地震動説明ビデオ